



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 三井金属鉱業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5706 URL <https://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 計治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 沓内 哲 (TEL) 03-5437-8028
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	115,861	△8.0	2,796	△64.2	3,592	△56.0	2,577	△42.9
2019年3月期第1四半期	125,920	8.4	7,807	6.2	8,162	7.6	4,509	△5.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,420百万円(△62.4%) 2019年3月期第1四半期 3,774百万円(66.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	45.13	—
2019年3月期第1四半期	78.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	518,942	176,397	32.4	2,940.59
2019年3月期	523,315	179,673	32.5	2,977.84

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 167,926百万円 2019年3月期 170,055百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	238,000	△5.0	6,000	△35.1	5,500	△50.1	3,000	△34.0	52.53
通期	500,000	0.5	26,000	42.7	26,000	46.4	17,000	262.4	297.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	57,296,616株	2019年3月期	57,296,616株
2020年3月期1Q	190,071株	2019年3月期	189,741株
2020年3月期1Q	57,106,615株	2019年3月期1Q	57,107,573株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は持ち直しの動きが持続する等により、緩やかな回復基調で推移しました。一方、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速等により、輸出や生産の一部に弱さが見られる等、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

こうした経済環境の中、当社グループは2024年のありたい姿である「機能材料、金属、自動車部品の3事業を核に、成長商品・事業を継続的に創出し、価値を拡大し続けている会社」を実現する成長基盤の変革を目指し、2019年を初年度とする3ヵ年の中期経営計画「19中計」を策定し、本年4月よりスタートいたしました。各事業セグメントにおいて「13、16中計の収獲」「19中計での成長戦略の実行」「変革を促す将来への布石」を実現するための重点施策に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前年同期比100億円（8.0%）減少の1,158億円となりました。

営業利益は、非鉄金属相場や為替相場の変動に伴うたな卸資産の在庫影響（以下「在庫要因」）により悪化し、加えて機能材料および自動車部品セグメントにおいて、主要製品の販売量が減少したこと等により、前年同期比50億円（64.2%）減少の27億円となりました。

経常利益は、営業利益の減少に加え、為替差損益が8億円悪化したものの、持分法による投資損益が11億円好転したこと等により、前年同期比45億円（56.0%）減少の35億円となりました。

特別損益においては、受取保険金4億円等を特別利益に計上しました。加えて、税金費用および非支配株主に帰属する四半期純利益を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比19億円（42.9%）減少の25億円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 機能材料セグメント

四輪向け排ガス浄化触媒は、需要が堅調であったことから販売量は増加しました。キャリア付極薄銅箔や電子材料用金属粉は、スマートフォン向けの需要が低調であったことから販売量は減少し、スパッタリングターゲットの販売量も減少しました。

当部門の売上高は、前年同期比26億円（6.2%）減少の397億円となりました。経常利益は、主要製品の販売量の減少に加え、インジウム価格の下落に伴う在庫要因により悪化したこと等から、前年同期比41億円（66.3%）減少の20億円となりました。

② 金属セグメント

亜鉛・鉛のLME（ロンドン金属取引所）価格が下落したこと等から、当部門の売上高は前年同期比42億円（9.7%）減少の395億円となりました。経常利益は、LME価格の下落による影響はあったものの、カセロネス銅鉱山の業績が改善したことや神岡水力発電の再生可能エネルギー固定価格買取制度の運用開始等から、前年同期比15億円（179.5%）増加の24億円となりました。

③ 自動車部品セグメント

自動車の国内市場は堅調であったものの、中国や米国市場は低調に推移したことから、当部門の売上高は前年同期比19億円（7.9%）減少の233億円となりました。経常利益は、販売量が減少したこと等から、前年同期比7億円（85.9%）減少の1億円となりました。

④ 関連セグメント

各種産業プラントエンジニアリング事業において、国内グループ企業向け工事の完成工事高が減少したこと等から、当セグメントの売上高は前年同期比36億円（12.4%）減少の258億円、経常利益は、前年同期比5億円（66.7%）減少の2億円となりました。

主要な品目等の生産実績及び受注状況の当期の推移は、次のとおりであります。

セグメント	品目	単位		第1	第2	第3	第4	累計
				四半期	四半期	四半期	四半期	
機能材料	銅箔	生産量	千t	6	—	—	—	6
金属	亜鉛	生産量	千t	55	—	—	—	55
	鉛	生産量	千t	15	—	—	—	15
自動車部品	自動車部品	生産金額	億円	210	—	—	—	210

* 亜鉛：共同製錬については当社シェア分

（2）財政状態に関する説明

〔資産、負債及び純資産の状況〕

資産合計は、たな卸資産73億円等の増加があったものの、受取手形及び売掛金79億円、現金及び預金27億円等の減少により、前連結会計年度末に比べ43億円減少の5,189億円となりました。

負債合計は、長・短借入金、社債及びコマーシャル・ペーパー残高63億円等の増加があったものの、支払手形及び買掛金26億円、賞与引当金19億円、デリバティブ債務13億円等の減少により、前連結会計年度末に比べ10億円減少の3,425億円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益25億円、繰延ヘッジ損益9億円等の増加に加え、剰余金の配当39億円、為替換算調整勘定19億円、非支配株主持分11億円等の減少があり、前連結会計年度末に比べ32億円減少の1,763億円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント低下の32.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）の業績予想につきましては、当第1四半期実績と第2四半期の事業環境等の変動要因を勘案の上見直しております。

なお、通期（2019年4月1日～2020年3月31日）の業績予想につきましては、現時点で事業環境を見極めることが困難なことから、見直しておりません。

（金額：百万円）

		2019年9月 第2四半期 累計期間 (今回予想)	2019年9月 第2四半期 累計期間 (前回予想)	増減	増減率 (%)	2020年 3月期 (予想)
売上高	機能材料	84,000	89,000	△5,000	△5.6	180,000
	金属	80,000	81,000	△1,000	△1.2	162,000
	自動車部品	46,000	48,000	△2,000	△4.2	99,000
	関連	54,000	55,000	△1,000	△1.8	123,000
	消去又は全社	△26,000	△28,000	2,000	—	△64,000
	合計	238,000	245,000	△7,000	△2.9	500,000
営業利益		6,000	12,500	△6,500	△52.0	26,000
経常利益	機能材料	5,500	9,600	△4,100	△42.7	17,800
	金属	1,100	3,200	△2,100	△65.6	5,500
	自動車部品	0	0	—	—	1,300
	関連	400	1,000	△600	△60.0	4,200
	消去又は全社	△1,500	△800	△700	—	△2,800
	合計	5,500	13,000	△7,500	△57.7	26,000
親会社株主に帰属する当期純利益		3,000	9,000	△6,000	△66.7	17,000

	4月平均	5月平均	6月平均	4～6月 平均	7～9月 平均	(参考) 前回予想時 見込
為替 (円/US\$)	112	110	108	110	108	110
亜鉛LME (\$/t)	2,939	2,748	2,602	2,763	2,500	2,600
鉛LME (\$/t)	1,949	1,817	1,892	1,886	2,000	2,000
銅LME (¢/lb)	292	273	266	277	270	295
銅LME (\$/t)	6,445	6,028	5,868	6,114	5,952	6,504
インジウム (\$/kg)	213	197	178	196	175	220

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 追加情報

(連結子会社の決算日の変更)

従来、決算日が12月31日である連結子会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について連結上必要な調整を行っておりましたが、より適切な連結財務諸表の開示を行うため、当第1四半期連結会計期間より、Mitsui Siam Components Co., Ltd.、Mitsui Components Europe Ltd.、PT. MITSUI KINZOKU ACT INDONESIAは、決算日を3月31日に変更し、無錫大昌機械工業有限公司、広東三井汽车配件有限公司、三井金属愛科特(上海)管理有限公司、MITSUI KINZOKU ACT MEXICANA, S. A. de C. V. は、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

この決算期変更に伴い、当第1四半期連結累計期間は2019年1月1日から2019年3月31日までの3か月分の損益について、利益剰余金の増加366百万円として調整し連結しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,536	18,789
受取手形及び売掛金	91,273	83,283
商品及び製品	36,061	40,083
仕掛品	30,392	31,130
原材料及び貯蔵品	45,299	47,873
その他	24,952	23,885
貸倒引当金	△179	△171
流動資産合計	249,336	244,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	184,982	185,355
減価償却累計額	△122,179	△123,109
建物及び構築物（純額）	62,802	62,246
機械装置及び運搬具	385,567	386,410
減価償却累計額	△313,793	△315,296
機械装置及び運搬具（純額）	71,774	71,113
鉱業用地	1,466	368
減価償却累計額	△246	△249
鉱業用地（純額）	1,219	118
土地	32,244	33,334
建設仮勘定	11,492	9,912
その他	61,018	63,539
減価償却累計額	△50,695	△51,640
その他（純額）	10,323	11,899
有形固定資産合計	189,857	188,625
無形固定資産	4,613	4,623
投資その他の資産		
投資有価証券	64,363	65,606
長期貸付金	454	453
退職給付に係る資産	4,625	4,775
繰延税金資産	5,765	6,138
その他	4,437	3,930
貸倒引当金	△137	△86
投資その他の資産合計	79,508	80,818
固定資産合計	273,978	274,067
資産合計	523,315	518,942

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,043	36,374
短期借入金	78,010	76,461
コマーシャル・ペーパー	6,500	14,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	2,600	2,004
引当金	6,712	4,760
その他	38,100	34,374
流動負債合計	180,969	177,975
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	72,368	72,790
繰延税金負債	2,775	2,824
引当金	2,308	2,237
退職給付に係る負債	26,404	26,664
資産除去債務	3,341	3,392
その他	5,473	6,659
固定負債合計	162,672	164,570
負債合計	343,641	342,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,129	42,129
資本剰余金	22,631	22,631
利益剰余金	95,069	94,015
自己株式	△622	△623
株主資本合計	159,207	158,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,607	1,448
繰延ヘッジ損益	△1,976	△998
為替換算調整勘定	11,524	9,621
退職給付に係る調整累計額	△308	△296
その他の包括利益累計額合計	10,847	9,774
非支配株主持分	9,618	8,470
純資産合計	179,673	176,397
負債純資産合計	523,315	518,942

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	125,920	115,861
売上原価	104,710	99,280
売上総利益	21,209	16,581
販売費及び一般管理費	13,402	13,784
営業利益	7,807	2,796
営業外収益		
受取利息	42	104
受取配当金	1,163	1,081
為替差益	389	—
不動産賃貸料	175	174
持分法による投資利益	—	338
その他	84	222
営業外収益合計	1,854	1,922
営業外費用		
支払利息	351	458
為替差損	—	457
持分法による投資損失	770	—
その他	378	209
営業外費用合計	1,500	1,125
経常利益	8,162	3,592
特別利益		
固定資産売却益	8	110
受取保険金	3	469
その他	3	8
特別利益合計	15	589
特別損失		
固定資産売却損	6	12
固定資産除却損	200	163
環境対策費	60	70
その他	192	40
特別損失合計	459	286
税金等調整前四半期純利益	7,718	3,895
法人税、住民税及び事業税	4,383	1,448
法人税等調整額	△1,315	△131
法人税等合計	3,068	1,317
四半期純利益	4,650	2,577
非支配株主に帰属する四半期純利益	140	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,509	2,577

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	4,650	2,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	△113
繰延ヘッジ損益	1,694	1,152
為替換算調整勘定	△1,614	△1,958
退職給付に係る調整額	48	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△993	△249
その他の包括利益合計	△875	△1,157
四半期包括利益	3,774	1,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,696	1,503
非支配株主に係る四半期包括利益	77	△83

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 部品	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	40,812	37,982	25,298	20,983	125,076	844	125,920
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,605	5,821	—	8,525	15,952	△15,952	—
計	42,417	43,803	25,298	29,508	141,028	△15,107	125,920
セグメント利益	6,200	886	899	884	8,870	△708	8,162

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△419百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 部品	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	38,209	33,882	23,305	20,176	115,573	287	115,861
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,558	5,689	—	5,684	12,932	△12,932	—
計	39,767	39,571	23,305	25,861	128,506	△12,645	115,861
セグメント利益	2,091	2,478	127	294	4,991	△1,398	3,592

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△618百万円、たな卸資産の調整額△809百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。